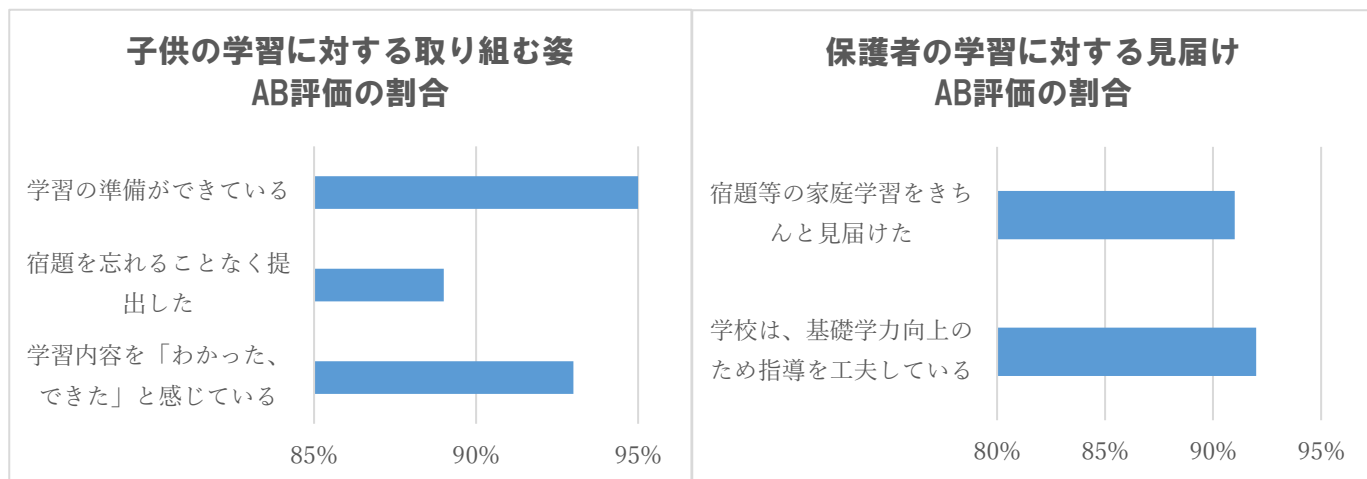


かがやけ光の子

来年の一步につながる活動とふりかえり

学校評価アンケート（12月）の結果

授業での学習内容を「わかった、できた」と感じている児童 93%



2月の学校便りでもお知らせしましたが、東小の子供たちの学力が向上しています。定着度調査の結果を8年前と比べても国語と算数を合わせて10ポイント以上高くなっています。

それは保護者の皆様が家庭学習の見届けをしっかりといただいているおかげで、子供たちの学習への意欲につながっているからだと考えます。ご協力に感謝いたします。

学校においても国語・算数の基礎学力向上のために、三大テストを年間3回実施しています。子供たちは、励まされながら合格できるまで何度も挑戦し、合格する達成感を味わうことができます。しかし、今回の定着度調査においては、漢字を活用する力に課題が残りました。2月より全漢字音読・辞書引き等に力を入れて指導をしているところです。春休みにおいては、次学年の全漢字音読に挑戦します。ご協力をお願いします。

また、朝のあいさつ運動をしていただいた保護者の皆様から、「子供たちの声がなかなか返ってこない」とか「声が小さい」というような意見も聞きます。学校と家庭や地域が一体となって、あいさつの向上に取り組んでいきたいと考えます。

2月21日学校評価委員会を開催し、評価委員より御意見をいただきました。

- ・いつ、どこでどんな災害や事件が起きるか分からない時代である。自分の命を守る活動に力を入れて欲しい。地域防災訓練への保護者や子供の参加率が低い状況である。地域が一体となって子供たちを育てていくためにも地域行事に親子で積極的に参加できるように地区としても取り組んでいきたい。
- ・持久走大会に対する子供の思いと保護者の思いにずれが生じている。高学年になるにつれ大会を楽しむにしている子供が減っている。生涯に渡って積極的に運動に親しむ子供を育てていくためにも子供の思いを大切にしたい大会に変えていく必要があるのではないかと。順位を競う必要は、ないだろう。
- ・4月からコミュニティ・スクールとしてスタートする。また、英語やプログラミング教育が本格的に始まるので地域の人材を学校はもっと活用すべきである。教員だけで、対応するのは心配が残る。

学校評価 児童 保護者アンケート集計結果（12月実施）

A+B 90%以上◎ 80%以上○ 80%未満△

番号	評 価 項 目	児童回答	評価	保護者回答	評価
		A+B（%）		A+B（%）	
1	学校が楽しい	91	◎		
2	あいさつができています。	93	◎	90	◎
3	きまりや時間を守っている。	92	◎	82	○
4	人の話を「耳・目・心」で聴いている。	93	◎	78	△
5	運動やスポーツ、外遊びをよくしている。	88	○	74	△
6	「読み聞かせ」や「読書の木」、「親子読書」等を通して読書に親しんでいる。	82	○	69	△
7	様々な活動に対して、めあてに向かって、最後まで取り組んでいる。	93	◎	76	△
8	学校教育目標「しなやかでともに学ぶ子 やり抜く子」の実現に向けて、お子さんは主体的に活動している。			79	△
9	東小は、基礎学力の向上を図るための指導を工夫して実施している。			92	◎
10	感謝の気持ちを表すことができています。	93	◎	88	○
11	清掃を黙ってやっている。	92	◎		
12	児：困ったことや悩みを先生が話を聞いてくれる。 保：学校は、一人一人のよさを認め、悩みや相談に誠実に対応している。	94	◎	91	◎
13	児：避難訓練に真剣に参加した。 保：東小は、交通安全や避難訓練など、安全指導を適切に行っている。	95	◎	96	◎
14	学習の準備ができています。	95	◎	83	○
15	児：宿題を忘れることなく提出した。保：宿題等の家庭学習をきちんと見届けるよう努めた。	89	○	91	◎
16	児：授業での学習内容を「わかった、できた」と感じている。保：お子さんは、学習内容を理解できている。	93	◎	88	○
17	自分なりの思いや考えをもって、グループ やクラスの話し合いに参加した。	91	◎		
18	ペア活動やクラブ 活動等の異学年交流を楽しんでいた。	93	◎	92	◎
19	児：友だちと協力して係や委員会の当番活動を責任をもってやり抜いた。保：家庭でお手伝いをしている。	96	◎	78	△
20	児：登校後、着替えをして外に出た。保：お子さんは、朝ご飯を食べてから登校している。	94	◎	97	◎
21	児：給食後の歯みがきをしていた。保：歯みがきをしている。	97	◎	94	◎